

「さぬき漆芸 三技法展」

を開催します！

香川県漆芸研究所では、香川漆芸を身近に親しんでいただけるよう、文化会館1階の香川漆芸ホールで、定期的にテーマを変えて作品展を開催しています。

香川の漆芸は、江戸時代に玉楮象谷によって創始され、発展してきました。その特徴は、彫刻刀や剣による彫りと色漆による加飾にあり、「蒟醬（きんま）」、「存清（ぞんせい）」、「彫漆（ちょうしつ）」の技法は、「香川の三技法」といわれています。

今回は、当研究所が所蔵する重要無形文化財保持者（人間国宝）や香川県指定無形文化財保持者の三技法による作品8点と工程見本4点を展示します。

この機会に、是非、香川を代表する貴重な漆芸作品をご鑑賞ください。

- 1 開催期間 令和5年3月4日（土）～5月21日（日）会期中無休
- 2 開催時間 9：00～17：00
- 3 会場 香川県文化会館1階 香川漆芸ホール
高松市番町一丁目10番39号
- 4 観覧料 無料
- 5 主催 香川県漆芸研究所
- 6 問合せ先 香川県漆芸研究所
〒760-0017 高松市番町一丁目10番39号
電話 （087）831-1814

※ 新型コロナウイルス感染症の防止対策にご協力の上、ご鑑賞くださいますようお願いいたします。